

たからづかしりつとしょかん こどもとしょかんだより

まほうのらんぷ

2025年2月 第68号 宝塚市立図書館

<https://www.library.takarazuka.hyogo.jp>

ちゅうおうとしょかん
中央図書館
にしとしょかん
西図書館

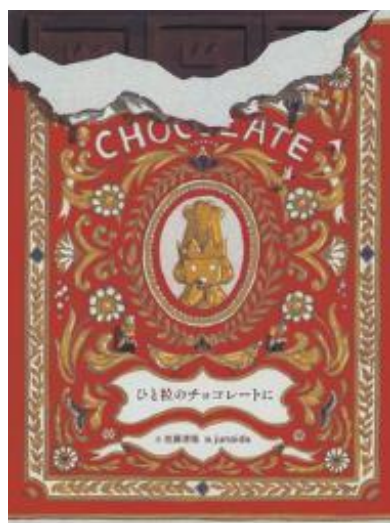
たからづかし きよしこうじん
宝塚市清荒神1-2-18 でんわ 0797-84-6121
たからづかし おばやし
宝塚市小林2-7-30 でんわ 0797-77-1222

こんげつ さつ
今月の1冊

こんげつ
今月はチョコの本!

588 『ひと粒のチョコレートに』

佐藤 清隆／文 junaida／絵 福音館書店



お菓子の王様「チョコレート」。
チョコレートには、いくつもの秘密があります。
カカオ豆の油で出来ていること。その油は25度以下なら固まるのに、人の体温ではとける性質があること。
そもそも、その油は豆が芽を出すための栄養なので、寒い冬のある国では油が固まってカカオは育たないこと。
自然のカカオ豆から、ココアが発明され、ダークチョコ、ミルクチョコと1万年近い時間をかけて人の手で、形が変わってきたこと。だからお菓子の王様なのね。
未来のチョコレートは、どう変わっていくのかな。

(3年生くらいから)

2月のおやすみ

ちゅうおうとしょかん すいようび か きん
中央図書館：水曜日と14日(金)
にしとしょかん ついたち ど すいようび
西図書館：1日(土)と水曜日



としょかんのマスコット
「ほんニャン」ニャ!



ちゅうおうとしょかん

中央図書館

がつぎょうじ

2月の行事

**おはなしかい**

2階 集会室 ☆15日(土) は児童室

2月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土) *たのしいおはなしと絵本

14時30分～ 3さいくらい～小学生、15時～小学生くらい～

★8日の15時から、落語があります！大人のかたもぜひどうぞ。

えほんであそぼ

2階 集会室

2月10日(月) 10時30分～11時

10か月～2さいくらい *絵本と手あそび、かんたん工作も！

ぱたぽんの絵本の庭

2階 集会室 (大人は入れません)

2月8日(土) 10時30分～10時50分、11時～11時20分 3～5さいくらい

11時30分～12時 6さいくらい～ *たのしい絵本とおはなし

かみしばい

2階 集会室

2月16日(日) 14時30分～15時30分 *かみしばいとおりがみ

かみしばいとおはなしのひろば

2階 集会室

2月28日(金) 10時30分～11時30分

1さい～3さいくらい *かみしばい、うたあそびなど

上映会

2階 集会室

2月15日(土) 10時30分～12時

「ドラえもんコレクションスペシャル 冬の3」(アニメ) 90分

手話で楽しむ絵本の世界

2階 集会室

*手話による絵本の読み聞かせ

2月24日(月) 14時～15時30分 子どもから大人までどなたでも





にしとしょかん がつ ぎょうじ 西図書館 2月の行事



おはなしかい おはなしと絵本をたのしみましょう。

2月8日(土)、15日(土)、22日(土)

10時30分～ 4さいくらい～小学校2年生くらい(大人は入れません)

11時～ 小学校3年生くらい～(大人も入れます)

えほんのへや たのしい絵本をたくさんよみます。

2月9日(日)、23日(日) 10時30分～11時

2さいからのみんなであそぼ!

2月17日(月) 10時30分～11時

子どもが喜ぶ手あそびや絵本を紹介しします。

かんたんな工作もあります。

**しょうえいかい
上映会**

2月8日(土) 14時30分～16時30分

「チャーリーとチョコレート工場」(吹き替え) 115分

**こぞだ おうえん としょかんりよう たくじ
子育て応援! ～図書館利用のための託児サービス～**

2月14日・28日(いずれも金) 10時～11時、11時～正午

★くわしくは、図書館のホームページを見てください★

だいす

大好き! ビブリオバトル

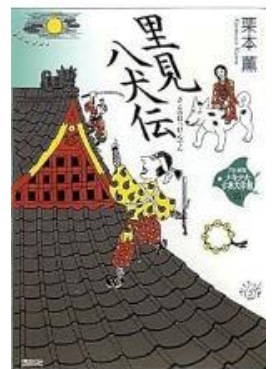
～ことばの祭典ビブリオバトル大会で発表された本を紹介しします～

918 ニシ

『21世紀版少年少女古典文学館 21 里見八犬伝』

滝沢 馬琴/著 栗本 薫/[訳] 著 講談社

司馬 遼太郎 田辺 聖子 井上 ひさし/監修



映画化され話題になった「八犬伝」の原作本、しかも「グイン・サーガ」や「魔界水滸伝」、「伊集院大介シリーズ」で知られるファンタジーの名手 栗本 薫 が訳した超大作。里見家の呪いを解くため運命に引き寄せられた8人の剣士の戦いをダイナミックに表現した波乱万丈の物語です。読みやすいルビつき、カラーさし絵、本文中の豊富な用語解説で、日本の古典文学をはじめて読む人にお薦めの一冊です。

(中高学年くらいから)

ほん おもしろい本みーつけた！

えほん『ミライチョコレート』

ザ・キャビンカンパニー／著 白泉社

3024年のニッポン。マヤは「はくぶつかん」の「ほん」で「チョコレート」というものを見つけます。

「チョコレート」ってどんなもの？どうしてもたべてみたくなったマヤは空飛ぶのりもの「フライ号」で、搜索の旅に出かけます。食べ物「エイヨウダマ」や「ヘソデンキ」だけになってしまったミライでチョコレートは見つかるのでしょうか？

(5さいくらいから)



Nタカ『コロキパラン』

たかどの ほうこ／作 網中 いづる／絵 のら書店

チョコレート屋さん「ムッシュチョコット」の店長さんとわたしたちは、広い公園の真ん中ににわか作りの店を出しました。わたしはチョコを買ってくれたお客さんの似顔絵を描く係です。

似顔絵を描いたことなんてないわたしは、ストリートミュージシャンのおじさんがハンドルを回すオルゴールの調べにのせて懸命にペンを動かします。

コロキパラン…キロラポン…コロキパラン…キロラポン…黄色のオーバーの女の子、黒い帽子をかぶった子…ときおり、なんだか奇妙な小さな子が混じっています。最後にはオルゴールをまわっていたおじさんも座りました…。バレンタインの日の不思議なおはなし。(4年生くらいから)

280『チョコレート物語』

佐和 みずえ／作 くもん出版

バレンタインデーにチョコをプレゼントする習慣を考えた人を知っていますか？

その人の名は、ワレンティン・フョードロビッチ・モロゾフ。ニックネームはワーニャです。

ロシア帝国から亡命し、中華民国、アメリカ、日本と数奇な運命に導かれ、たどり着いた神戸で、宝石のようなチョコレートをつくり続けました。(3年生くらいから)

